

立田八開地域 小中一貫校計画見直しは

佐藤 信男議員



検討協議会を設置し協議・検討を進める
教育部長



▲小中一貫校が計画されている立田中学校

学校施設の 老朽化対策は

問 老朽化が進む学校施設を、多くの視点で確認作業を行っているが、委員会における検討、協議事項及びその進捗状況はどうなっているのか。

答 市内各学校の築年数や修繕の状況、学校校舎の機能及び児童・生徒の学習環境など様々な視点から、今後の学校施設の老朽化等に関する基本的な考え方や対策に向けた具体的な方策について検討、協議し、準備を進めている。

問 愛西市立小中学校適正規模等基本方針策定以降の実際に推移した児童・生徒数はどのような状況か。

答 現在把握している2歳児、1歳児、ゼロ歳児の数は、これまでの減少傾向を大きく下降している状況だ。

問 愛西市立小中学校適正規模等基本方針策定以降の実際に推移した児童・生徒数はどのような状況か。

答 現在把握している2歳児、1歳児、ゼロ歳児の数は、これまでの減少傾向を大きく下降している状況だ。

問 将来の児童・生徒数の推移及び推計は、具体的にどのようなように分析しているのか。

答 児童・生徒数は、新たな将来の推計値を用いるなど、適正化の進め方について検証が必要な時期に来ている。

問 検証委員会を設置し、立田、八開地域小中学校一貫校の計画を白紙に戻す、あるいは見直すこともあるか。

答 計画の再度検討が必要とされた場合は、検討協議会等を設置し、再度、今後の対応について協議、検討を進める。

問 学校により児童・生徒に差はあるが、学校規模の適正基準における学級数の条件を満たすことが困難な状況となる。

答 学校により児童・生徒に差はあるが、学校規模の適正基準における学級数の条件を満たすことが困難な状況となる。

問 適正化を進めていく上で今後どのような対応を考えていくのか。

答 児童・生徒数は、新たな将来の推計値を用いるなど、適正化の進め方について検証が必要な時期に来ている。

問 検証委員会を設置し、立田、八開地域小中学校一貫校の計画を白紙に戻す、あるいは見直すこともあるか。

答 計画の再度検討が必要とされた場合は、検討協議会等を設置し、再度、今後の対応について協議、検討を進める。